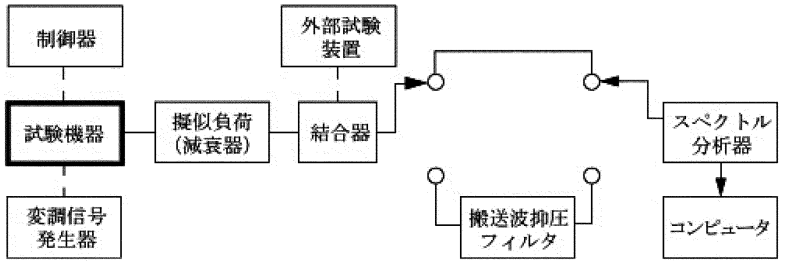
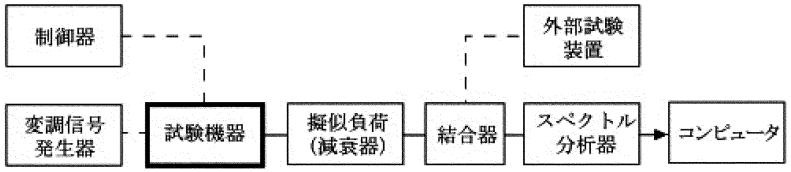
六　スプリアス発射又は不要発射の強度

別表第一の測定方法による。この場合において、測定系統は次のとおりとする。

1　スプリアス領域における不要発射の強度



2　帯域外領域における不要発射の強度



七　隣接チャネル漏えい電力

1　測定系統図

六の項の２の図に準ずるものによる。

2　測定器の条件等

スペクトル分析器は、次のように設定する。

⑴　中心周波数　測定操作手順に示す周波数

⑵　掃引周波数幅　次表のとおり

チャネル間隔	中　心　周　波　数	掃　引　周　波　数　幅
５MHz	搬送周波数±５MHz	4.5MHz及び5.0MHz
	搬送周波数±10MHz	5.0MHz
10MHz	搬送周波数±7.5MHz	5.0MHz
	搬送周波数±10MHz	9.0MHz
	搬送周波数±12.5MHz	5.0MHz
15MHz	搬送周波数±10MHz	5.0MHz
	搬送周波数±15MHz	5.0MHz及び13.5MHz
20MHz	搬送周波数±12.5MHz	5.0MHz
	搬送周波数±17.5MHz	5.0MHz
	搬送周波数±20MHz	18.0MHz